



屯鶴峯地下壕入口

戦争展 2024 パネル展示 私たちの

『まち』に遺る戦争 どんづるぼう ～大阪城公園に、屯鶴峯に～

終戦から78年が経過しました。日本では戦争を知らない世代が大半を占めるようになりました。世界各地では、今もなお戦争や紛争が絶えず起こっています。ニュースや映像で流れるものの身近なものではなくどこか遠い出来事になっています。

しかし、歴史を振り返ると現在私たちが暮らす『まち』からは想像もつきませんが、かつてこの『まち』でも戦争がありました。陸軍第四師団司令部・大阪砲兵工廠があったため、空襲の標的にされた大阪城公園。本土決戦に備え旧日本軍が巨大地下壕を掘った奈良の屯鶴峯。長い年月を経た今でも私たちの知らない戦争がそこには遺されています。戦争は戦地に限らず、私たちの日常やかけがえのない尊い命を奪ってしまいます。

私たちは戦争という同じ過ちを繰り返さないよう、未来に向けて歩んでいかなければなりません。

3月 6日(水) ～ 3月 27日(水)
9:00～17:30 御堂会館1Fエントランス

8回におよぶ「大阪大空襲」の内、最も多くの犠牲者を出したのが、1945年3月13日～14日にかけての第1回大阪大空襲です。そのため、私たち大阪教区教化委員会では戦争展を毎年3月に開催しています。

映画上映会

『荒野に希望の灯をともし』

3月15日17時より

難波別院 同朋会館講堂

第120回
南御堂
ヒューマン
フォーラム